

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 △ディプロマ・ポリシー達成のため望ましい科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現			3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2					
23DPHM3203	演習 III	3	講義、演習 I、II の成果や論文作成研究の成果を基に、関連した研究論文や疫学調査を詳細に調査し、確立した研究課題について、適切な実験・評価方法を用いて積極的に実験・調査を継続し、成果・課題を纏めるとともに、研究結果の解釈を正しく行う。その内容を発表し質疑応答に対応できる能力を定着させることを目的とする。	1) 研究課題に関する成果が関連領域に及ぼす効果や汎用性について説明できる。 2) 研究課題の問題点について具体的な解決策を提案できる。	△	△			◎	◎	○	◎	○	○
23DPHM1301	先端薬学特論	1	薬学領域において、基礎研究からデータ解析、創薬、診断、疾病治療に渡る広範かつ最新のトピックスを学び、薬剤師・薬学研究者としての発展的知識を身につけることを目的とする。	1) 最新の薬物治療について説明できる。 2) 各種疾患の病態について説明できる。 3) 各種疾患の治療薬の作用機序、特徴などについて説明できる。 4) 薬物治療につながる研究開発の方法を理解できる。	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	△	△
23DPHM1302	先端臨床薬学特論	1	代表的な疾患に関する病態、代表的薬物治療、先端薬物治療について、薬剤師が薬学的介入を行うために必要な知識と技能の修得を目的とする。また、セルフメディケーションや在宅医療など地域薬局が担う業務の内容と意義について学ぶことを目的とする。	1) 内分泌疾患、循環器疾患、精神疾患、がん、感染症、小児疾患等の薬物療法に関する基本的な知識と薬物の効果・副作用について列挙できる。 2) 地域医療における薬剤師の役割と意義を解説できる。	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	△	△
23DPHM1202	先端薬学特別演習	1	多様な薬学基礎研究の成果を臨床へ繋げることが求められている。そのためこの科目では、薬学研究領域における基礎研究の成果を臨床的な視点に、また逆に、臨床上の問題や疑問を基礎研究の視点に繋げるトランスレーショナル・リバーストランスレーショナルな思考を醸成することを目的とする。	1) 薬学基礎研究で得られた成果が臨床診断や治療に結びついたなどの具体例をあげて説明できる。 2) 臨床上の問題点や疑問点を非臨床研究によって解明し、新たな診断法、治療法や創薬に結びつける、既存の医薬品の新たな使用方法を見出す、副作用を軽減するなど繋がり具体例をあげて説明できる。 3) 自身の研究課題に関して、臨床的な視点を考えることができる。	○	○	△	○	○	◎	◎	△	◎	
23DPHM1203	先端臨床薬学特別演習	1	臨床現場で直面する幅広い課題において、薬学的知見による専門性をもって、課題を解決できる問題解決能力、ディスカッション能力を有することを目的とする。	1) 例示した臨床現場での課題の解決策をディスカッションできる。 2) 1) の課題の解決策としたものの理由を客観的に説明できる。	○	△	○	○	◎	◎	◎	◎	○	△